

NO 2050		レジメン名		D-Ld療法【7コース以降用】								
病棟	患者番号	氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名					
						~						
			年齢	身長	体重	体表面積	GFR(血清クレアチニン値)					
			歳	cm	kg	m ²	ml/min (mg/dl)					
【適応がん種】多発性骨髄腫			ダラツムマブ レナリドミド デキサメタゾン		CCr補正	GOT補正	T-Bil補正					
1・ダラキューロ 1800 mg/body DAY1					-	-	-					
2・レブラミド 25 mg/body DAY1~21												
28日(4週)1クール					WBC基準	HGB基準	PLT基準					
					-	-	-					
					【病状】							
					1 全て説明している							
					2 病名は説明しているが、詳しい病状については説明していない							
					3 未告知である							
					【治療】							
					1 抗癌剤による治療・予防と説明							
					2 抗癌剤とは言わず治療薬と説明							
					3 抗癌剤とは言わず予防薬と説明							
					4 薬に関しては説明していない							
					平成20年7月1日 改訂							
NO	薬品1	規格	本数	薬品2(規格本数)	時間・投与法							
①	カロナール(200)4錠、レナデックス(4)5錠、レスタミン(10)5錠 内服 (前投与 オーダー不要)											
②	ダラキューロ (1800)mg	1800mg	1本	15mLを3~5分かけて皮下注								
③	レナデックス(4)5錠 内服 (翌日内服分 オーダー不要)				朝食後内服							
④	レナデックス(4)10錠 内服 (別途処方が必要)				朝食後内服							
【ダラキューロ投与時の注意】												
<ul style="list-style-type: none"> ● 臍から左右7.5cmの腹部皮下に投与(右図参照) ● バイアルは投与30分以上前に冷蔵庫から取り出す ● 調整後、室温および室内光下で保存する場合は4時間を上限とする ● 注射針は23~25G又は翼状針で投与する 												
<input type="checkbox"/> ダラキューロ投与中は間接クームス試験が偽陽性になる可能性がある (ダラキューロが赤血球上のCD38と結合するため) <input type="checkbox"/> ダラキューロ投与前に不規則抗体のスクリーニングを含めた一般的な輸血前検査が望ましい <input type="checkbox"/> ダラキューロによる間接クームス試験の干渉を回避するためには、ジチオスレイトール(DTT)処理を考慮すること												
202108作成												
月日	指示			指示医	受け	監査	払い	払監	調製	調監	前確	実施
	①②	DAY1										
	③	DAY2										
	④	DAY8										
	④	DAY15										
	④	DAY22										

